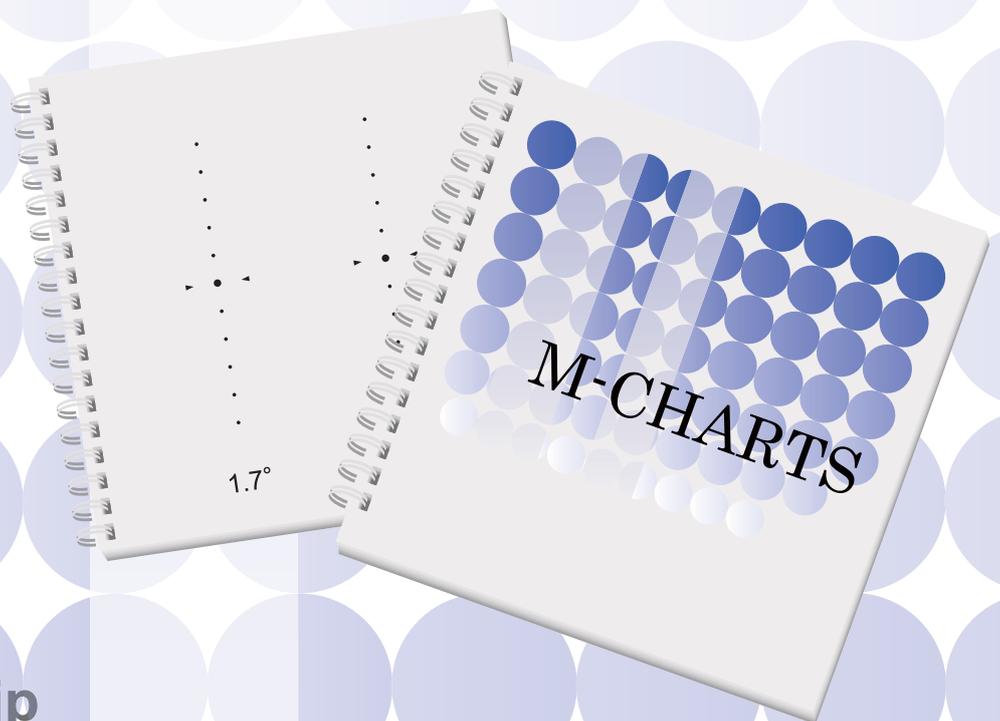


The advanced way to  
quantitate metamorphopsia

# M-CHARTS<sup>™</sup>

*KDM-3*



[www.inami.co.jp](http://www.inami.co.jp)



Find us on Facebook!

[www.facebook.com/inami.co.jp](http://www.facebook.com/inami.co.jp)

## M-CHARTS

変視を認知するためには、ある一定の長さの連続した直線の網膜面への刺激が必要です。この直線を、間隔の狭い点線から徐々に間隔の広い点線に変えることにより、次第に被験者は変視を認知しなくなります。本表はこの現象を応用し、変視を簡便にしかも短時間に定量的評価することが可能です。

## 検査対象

変視症を伴う各種黄斑疾患（黄斑前膜、黄斑円孔、加齢黄斑変性 など）

## 検査条件

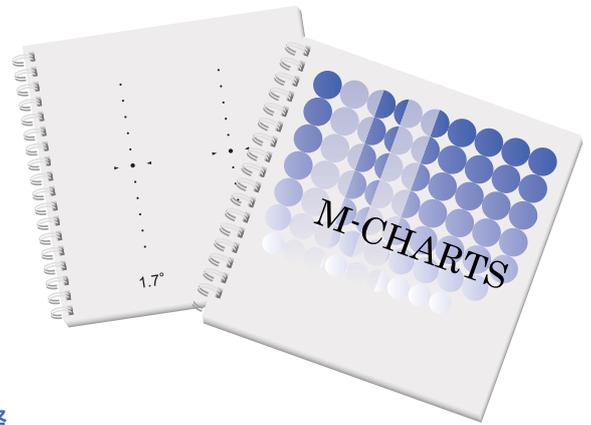
検査距離 30cm とし、近見矯正下にて測定します。（片眼遮蔽・明室下）

## 検査表の概略

検査視標となる直線および点線の全長は視角  $20^\circ$ 、点線の個々の点は視角  $0.1^\circ$ 、固視点は視角  $0.3^\circ$ 、線の種類は直線および点の間隔が視角  $0.2^\circ$  から  $2.0$  までの 19 種の点線からなります。

検査視標は固視点上を通る 1 本線と、中心暗点のある症例を対象とした固視点から  $1^\circ$  離れた 2 本線のタイプがあります。

また、低視力の症例を対象とした、点線の個々の点の視角が  $0.5^\circ$  からなる太線のタイプがあります。

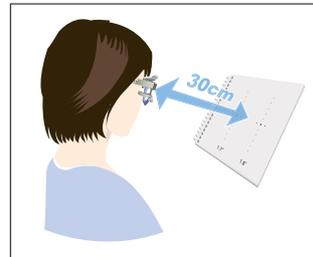
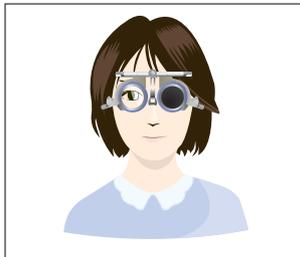
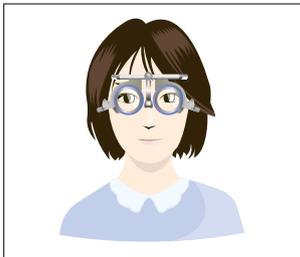


## 価格

KDM-3	変視症定量評価チャート M-CHARTS Ver.2.0	¥ 29,800
-------	------------------------------	----------

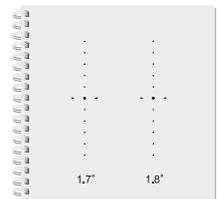
## 使用方法

検査距離 30cm、近見矯正にて、明室で検査を行います。検査は片眼ずつ行います。非検査眼はアイパッチ等で遮蔽します。



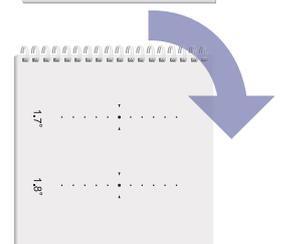
### ① 縦方向の変視の検査

チャート縦の直線を用い、中央の点を固視させ、線のどこかに歪みがないか確認します。もし歪みがあれば、次に最も細かな点線を用い、同様に歪みがないか確認します。そして歪みの自覚が消失するまで、順により間隔の荒い点線を用い検査を進めます。歪みの自覚が消失した点線の視角をもって、縦線の変視量(MV:metamorphopsia score of vertical line)とします。



### ② 横方向の変視の検査

チャートを  $90^\circ$  回転し、横線で同様に検査を行い、横線の変視量(MH:metamorphopsia score of horizontal line)を求めます。

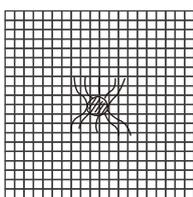


### ③ 2本線、太線のタイプを用いた検査

黄斑円孔のような小さな中心暗点がある場合は、2 本線のタイプを用います。また、加齢黄斑変性など、視力が悪く、点線が見えない場合は、低視力者用の太線のタイプを用います。

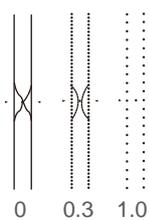
## M-CHARTS とアムスラーチャートの比較

### AMSLER CHART



術前

### M-CHARTS

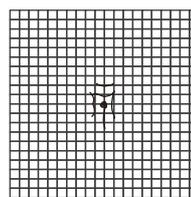


変視量(Ⅱ)  
MV=1.0  
MH=0.9

### 変視量の表記例

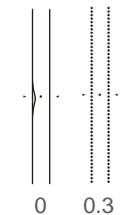
1本線タイプ : MV(Ⅰ)=  $0.3^\circ$ 、MH(Ⅰ)=  $0.5^\circ$   
2本線タイプ : MV(Ⅱ)=  $0.5^\circ$ 、MH(Ⅱ)=  $0.7^\circ$   
低視力者用 : MV(B)=  $0.4^\circ$ 、MH(B)=  $0.4^\circ$

### AMSLER CHART



術後1ヶ月

### M-CHARTS



変視量(Ⅱ)  
MV=0.3  
MH=0.5